

# 予防接種ワーキンググループ

(平成 30 年度)

## 予防接種ワーキンググループ報告書

広島県地域保健対策協議会 予防接種ワーキンググループ

WG 長 渡邊 弘司

本ワーキンググループは、定期予防接種の接種率向上を目指すことを目的として、広島県内の市町共通の接種率算定式を用い、平成 28 年度より市町別接種率ならびに予防接種勧奨方法について調査を実施している。

調査内容は、隔年で全予防接種率を調査し、その間では、重視すべき予防接種を選択して接種率調査を実施している。平成 30 年度は、初年度（平成 27 年度）から 2 年経過しており、全対象ワクチンについて接種率調査を行った。

平成 27 年度と 29 年度の各市町における接種率を比較した。

- ・市町の規模（対象者数）と接種率には、いずれのワクチンにおいても関連はなかった
- ・県内全体では、日本脳炎 2 期で 29 年度では接種率が上昇した
- ・ワクチン接種率が有意に上昇しているのは 3 市町であった
- ・ワクチン接種率が有意に上昇していない市町の多くは、初年度の接種率がすでに高い地区が多かった

現在、統計学的検証を行っており、終了次第、解析結果を公表する予定である。

平成 30 年度は、ワーキンググループ会議を 2 回、市郡地区医師会予防接種担当理事および市町担当者連絡協議会を 1 回開催した。

市郡地区医師会予防接種担当理事および市町担当者連絡協議会は、平成 30 年 12 月 14 日に開催した。平成 29 年度の調査結果と勧奨方法一覧を提示し、協議を行った。市町担当者からは、未接種者に対し積極的な個別勧奨を行いたいという意見が出された。各地区医師会担当者からは、母子手帳の確認、妊娠時からの母親への勧奨と啓発、教育委員会と連携した就学前の勧奨などを進めるべきという意見が出された。広島県担当者からは、MR と風疹の接種率向上に関して対策を考慮しているという意見が出された。

第 1 回予防接種ワーキンググループ会議は、平成 30 年 10 月 5 日に開催した。平成 27 年度と 29 年度の接種率の推移に関して協議を行った。MR の接種率の向上が必要という結論となった。成人の肺炎球菌ワクチンに関して今後検討していくか否かが課題として挙げられた。

第 2 回予防接種ワーキンググループ会議は、平成 31 年 2 月 21 日に開催した。すべてのワクチン接種率の集計は隔年ごととしていることから、平成 31 年度（令和元年）の調査は、流行が繰り返されている MR、接種率が全体的に低い DT2 期に関して接種率及び勧奨方法について調査を行うこととした。また、各市町における予防接種データ管理方法についても状況を確認することとした。

広島県地域保健対策協議会 予防接種ワーキンググループ

WG長	渡邊 弘司	広島県医師会
委員	大本 崇	広島県医師会
	河端 邦夫	広島県健康福祉局健康対策課広島県感染症・疾病管理センター
	木原 幹夫	木原こどもクリニック
	桑原 正雄	広島県医師会
	小山 祐介	福山市民病院
	坂本 裕敬	広島市健康福祉局保健部健康推進課
	重信 和也	重信医院
	嶋田 博光	しまだファミリークリニック
	杉原 雄三	こどもクリニック八本松
	堂面 政俊	堂面医院
	野間裕里江	のびのびこどもクリニック
	溝口 信行	すくすくキッズクリニック
	森 美喜夫	広島県医師会